



四日市市自治会連合会

# 四自連だより

発行

R2年3月31日発行

【編集・発行】

四日市市自治会連合会

〒510-8601

四日市市諏訪町1-5

TEL 059-354-8287

e-mail:yonjiren@m6.cty-net.ne.jp

第23号



## ごあいさつ

四日市市自治会連合会 会長 水谷 重信

平素は、自治会活動にご尽力いただき心からお礼申し上げます。

四日市市は、今後10年間のまちづくりの方向性を示す新たな「総合計画」が令和2年4月からはじまります。

新しい総合計画の特色は、将来都市像に向けて、従来の縦割り行政から、市全体で分野を横断して取り組む戦略プランを重点的に推進していくことで、それぞれの分野の相乗効果を期待しています。

今後の地域課題には、人とのつながりが希薄になり、少子高齢社会や人口減少により、空き家が増加し、地域の防犯・防災の力が低下し安全で安心なまちづくりに影響がでてくるのが懸念されます。

「将来、地域が活性化していくために、どのようなまちづくりをしていくべきか。」

新年度は、総合計画の実現に向け、さらに住みよい環境づくりに努めていきたいと思っております。

今後とも、自治会員の皆様のご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

## 第23号の おもな内容

- 先進地視察研修 ..... P2,3
- 防災まちづくり大賞 ..... P4
- 第9回 郷土が誇る芸能大会 ..... P4
- 「高齢者の安心を支える活動づくりに関する協定」の締結 ..... P5
- 三重県自治会連合会 知事懇談会 ..... P5
- 情報交換会 ..... P6,7
- 四日市市自治会加入の促進と自治会活動推進のための条例が制定されました ..... P8



## 【ぎふメディアコスモス（市立図書館）】

平成27年にオープンした「みんなの森 ぎふメディアコスモス」は、岐阜市立中央図書館を中核施設とし、その他に市民活動交流センターや多目的ホールなどを備えています。

施設全体の総事業費は125億円で、開館初年度の目標入場者数は年間100万人。

設計は、伊東豊雄氏で木を多用した曲線の美しいデザインで、書棚から、机いす等のすべての備品に相当なこだわりのある贅沢な図書館でした。



## 【長良川うかいミュージアム】

平成24年8月岐阜市長良鵜飼屋の地に“長良川うかいミュージアム”がオープン。

“長良川の鵜飼”の価値を分かりやすく紹介・情報発信する場として通年営業を行い、例年5月11日から10月15日までと開催時期の限られている“長良川の鵜飼”について、オフシーズンにもその魅力を発信している。



## 四日市市議会と四日市市自治会連合会との意見交換会の開催

令和2年1月14日四日市市議会と四日市市自治会連合会との意見交換会を開催いたしました。

里山保全の取り組み、本市の危機管理体制、自治会加入の促進と自治会活動推進のための条例について意見を交換し、認識を共有しました。

特に、四郷風致地区の太陽光発電事業の開発について、考え方を話し合いました。



※風致地区…四日市市に唯一ある、水や緑など貴重な自然環境を守る地域に指定され、都市における風致を維持するために定められた地区

会員制のキッチン付きイベントスペースが三重県に誕生

**美食倶楽部みえ**  
Platon Kitchen

【オープン記念】6月末まで入会金無料！初年度月会費半額！

入会金 30,000円 月会費 10,000円

TEL.059-352-0301 四日市市西新地 7-3 プラトンホテル四日市 2F 美食倶楽部みえ

地域の方の健康増進ならびに  
高齢者福祉に貢献します。



独立行政法人 地域医療機能推進機構

**四日市羽津医療センター**

(旧 四日市社会保険病院)

四日市市羽津山町10番8号 TEL 059-331-2000



## 防災まちづくり大賞

総務省消防庁が主催の「防災まちづくり大賞」日本防火・防災協会長に四日市市自治会連合会が選ばれ、2月28日に表彰されました。

平成25年から全地区で取り組んできた「女性の視点を取り入れた防災まちづくり」「地域から提案されたみんなに優しい避難所づくり」の事例が、全国104団体の中の19団体に選ばれ入賞しました。

女性の視点は、女性だけでなく高齢者、子ども、障害のある方、外国人等多様な人々に配慮でき、災害時の避難所運営には大変重要なことです。

まだまだ男性社会の自治会の中で、自治会長の方々が理解し、防災訓練等に女性の視点を取り入れて実践して下さったことが評価され、審査委員の先生から、自治会が女性の視点を取り入れた防災活動を全市的に行うことは全国的にみても非常に稀有だというコメントをいただきました。



## 第9回 郷土が誇る芸能大会

1月18日に「郷土が誇る芸能大会」が四日市市文化会館で開催されました。

四日市市が開催したこの催しは、9回目を迎え、連合自治会からの推薦された14地区が地域で大切に受け継いできた伝統芸能や趣向を凝らした芸能を演じあい、四日市の芸能の祭典が行われました。特別演奏に三重県立商業高等学校ギター・マンドリン部の学生さんが美空ひばりのアレンジした曲を軽快に演奏されました。



### 医療法人 尚豊会 みたき総合病院

標榜診療科目 内科、消化器内科、神経内科、緩和ケア内科、循環器内科、人工透析内科、糖尿病内科、肝臓内科、産婦人科、外科、血管外科、乳腺外科、耳鼻咽喉科、整形外科、リウマチ科、泌尿器科、脳神経外科、リハビリテーション科、小児科、眼科、麻酔科、歯科口腔外科、小児歯科

診療時間 午前／9時00分～正午 午後／4時00分～6時00分

休診日 水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

住所 〒512-0911 四日市市生薬町菰池458番地1

電話 (059) 330-6000

URL <http://mitakihp.jp/>

三重交通グループ  
バス運転士募集

これからも地域の皆さまに安全と安心、最高のサービスを提供するために...

## Recruitment of bus drivers

三重交通ではバス運転士を募集しています。  
詳細は下記までお問い合わせ下さい。

**三重交通株式会社**

人事部 運転士採用係 0120-351-179 (平日 9:00～17:00)



## 「高齢者の安心を支える活動づくりに関する協定」の締結

2月13日、高齢化に伴い市営住宅の空き住戸を活用した地域コミュニティ維持の取り組みを進めるための協定を締結しました。

### 〈2つの施策〉

#### ○あさけが丘市営住宅

四日市大学の学生2人が入居し、自治会にも加入してもらい自治会活動や高齢者の見守り、災害時の共助活動など、地域の活性化を図る。

#### ○坂部が丘市営住宅

坂部が丘4丁目は、高齢化率75%の超高齢化のまちで、四日市市の社会福祉協議会に空き住戸を活用し、交流拠点を設けて、福祉相談や地域包括支援センターや在宅介護支援センター、自治会等と連携し高齢者のためのイベントなどの実施を目指します。

協定式には、森市長をはじめ、四日市市自治会連合会、あさけが丘三丁目自治会、坂部が丘四丁目自治会、四日市市社協、NPO下野・生き域ネット、建築会社フォレストオオモリ、四日市大学、良品計画などの代表者が出席し、高齢化した市営住宅の活力が高まるように、協定書にサインをしました。



## 三重県自治会連合会 知事懇談会

令和2年1月29日津市で、知事懇談会が開催されました。

県内12市の連合自治会役員があつまり、地域の課題を知事と意見交換しました。

意見として、

#### ○太陽光発電設備の規制について(四日市市)

三重県では、平成30年に太陽光発電施設の適正導入に係るガイドラインが策定されているが、自然環境や景観は次世代につなぐべく大切な資源であり、再生エネルギーとの調和を図るため、太陽光発電事業の規制を強化してもらいたい。

#### ○交通安全対策について(亀山市・松阪市)

県道の横断歩道やセンターライン等の道路標示が不鮮明な箇所や樹木の伸びている箇所の対応を速やかに行ってもらいたい。

#### ○獣害対策事業について(志摩市)

野生鳥獣による農業被害の深刻化・広域化への対策を要望。

#### ○防災・減災対策について(志摩市・津市・松阪市・鈴鹿市・鳥羽市・紀北町)

災害時の必要最低限度の電源の確保。山間部の倒木停電の予防のための伐採を要望等。



## 情報交換会

令和2年2月26日に、恒例の「情報交換会」を開催しました。

2部構成で行い、第1部では、特色ある自治会活動として保々地区と塩浜地区に発表していただきました。第2部では、市の総務部総務課法務専門監で弁護士の水谷昌人氏をお招きし、「自治会をめぐる裁判例について」お話いただき、自治会活動でのトラブルについて研修しました。

第2部の研修は、自治会加入促進と自治会活動推進のための条例が4月から施行されることもあり、自治会にまつわる過去の裁判事例を紹介してもらい、自治会長の役割について、改めて認識することができました。



### 特色ある自治会活動

#### 保々地区『自然豊かな美しい郷土を後世に』

保々地区連合自治会会長	田中 實
保々の自然に親しむ会会長	柴田 正
保々ほたるの会会長	齋藤 寿見

自然豊かな美しい郷土を後世に引き継ぎたいと願い、平成14年に地区住民の有志が立ち上げた団体が「保々の自然に親しむ会」で、会員21名、北勢中央公園内の2か所の活動地をA地区、B地区と名付け、月2回活動しています。

起伏のあるA地区では、長年放置されてきた里山を生物多様性のある明るい里山として林相（りんそう）に復元するため、草・木・竹の伐採などを行うとともに、自然林の散策路を整備しています。また、北勢中央公園の協力を得て、館長権限予算を活用した「里山保全入門講座」を平成28年度から平成30年度に開催し、講座に参加したあと、会員として里山保全活動を行っている人もいます。

ほぼ平坦なB地区は、最初に竹を伐採する作業から始まり、重機を入れて、掘削、整地し、水を張る大掛かりな作業でピオトープを完成させました。B地区には、畑があり、保育園や保々小学校とも連携し、体験学習として、さつまいも苗の定植やさつまいもの収穫作業を、保育園児や1・2年生に行ってもらっています。

その他、保々小学校と連携した体験学習として、保々小学校近くの田んぼを保々の自然に親しむ会が、保々小学校の学習田として借り上げ、5年生を対象に田植えと稲刈りの指導をしています。

保々地区の彦左川流域には蛍が生息しており、毎年6月初旬にホタル観察会を実施しています。保々地区でみられるホタルは、ゲンジボタルで、幼虫の餌は、「カワニナ」という貝です。

彦左川のホタル生息域の西村町ふるさとを守る会では、この「カワニナ」の餌となる野菜を彦左川に投入し、ホタルの餌となる「カワニナ」を増やすことで、ホタルがたくさん見られるように努めています。

保々の自然に親しむ会は、ホタル観察会のほか、星空観察会、野鳥観察会等の自然関係の学習講座を開催し、それぞれ30～80人の参加をいただいています。

このような当会の活動に対して、平成25年には、三重県から「みえ環境大賞」をいただきました。

※林相…気の種類や生え方による森林の様相。



A地区



B地区ピオトープ



さつまいも収穫体験



ホタル観察会

## 塩浜地区まちづくり構想策定の報告

塩浜地区連合自治会会長 今村 勝昭

皆さんのほとんどが、「塩浜」は、公害・工業地帯というイメージを持っていると思います。

塩浜地区は、昭和35年に人口約17,000人の活気のあるまちでした。しかしながら令和2年の人口は約6,200人で、楠地区1地区分の人口がいなくなったこととなります。少子化の影響で、三浜小と塩浜小が統合され、続いて、塩浜中学校が、学校規模でE判定という課題があります。

また自主運行バスの利用者も減少し減便、商店街は店じまいが進行しています。そんな中、まちを活性化していこうと、4年という年月を掛けてまちづくり構想の検討を進め令和元年12月に、森市長に構想の提案書を提出しました。

四日市の公害は、昭和42年に訴訟が開始され、昭和47年に判決が下されました。この判決により、日本の公害政策を大きく方向転換したと思っています。

現在、塩浜地区のコンビニート企業は地区との意思疎通をはかる努力をして共存共栄を図っています。

### 企業との共存=話し合える場づくり

- ・塩浜地区関連事業所防災連絡会
- ・南部工業地域環境安全協議会
- ・鈴鹿クリーン作戦の展開
- ・文化祭等地区内行事への参加
- ・工場見学、防災訓練の見学

公害のイメージの払しょくのためには、見た目も重要であると、行政の協力を得て道路整備を進め景観よくすることを重視しました。まちづくり構想に地区の住民が参加してもらうために、地区内の現場検証をするバスツアーや、1,000人アンケート、文化祭を活用したオープンハウス、構想をタブレット版にして各戸配布し、周知を図りました。

まちづくり構想は来年度から実行に向けた活動に入ります。市の地区マスタープランの提言も受けて、安心して安全であることが、まちづくり構想の原点と考え、3つの災害（自然災害・企業災害・交通災害）について真剣に考え、まちづくり構想に反映していきます。

また、塩浜地区ならではの、企業とのコラボレートや地域コミュニティの大きな存在である学校をキーワードに進めていきたいと思っています。



まちづくり構想を市長に提出



塩浜地域



塩浜街道の渋滞

創業嘉永年間 永年の信用と豊富な実績

株式会社 ふじや本店

光倫会館

家族葬から社葬まで、24時間365日受付

☎0120-114248

【本社】〒510-0836 四日市市松本町北大谷2015 TEL:059-351-1151(代)

北勢地域で創業90年

ご要望に丁寧にお応えします。

ATKE

阿竹印刷工業株式会社

〒510-8016 四日市市富州原町14-24

TEL 059-365-3125



# 四日市市自治会加入の促進と自治会活動推進のための条例が制定されました!

## 令和2年4月1日施行

「四日市市自治会加入の促進と自治会活動推進のための条例」が令和元年11月定例会議会で可決され、令和2年4月1日から施行します。この条例は、自治会の活性化を推進するために、地域住民の自治会への加入及び参加に関し、地域住民、自治会及び事業者の役割並びに市の責務を定めたものです。

## 自治会に加入しましょう!

自治会は強制加入団体ではありませんが、市民の皆さんに自治会活動の意義を認識いただき、積極的に地域と関わるきっかけにして欲しいと思います。

## 制定の目的

高齢社会への対応、子どもの見守り、自然災害への防災等、多様化する地域課題を解決するため、地域コミュニティの活性化が求められています。

地域社会における安全・安心ネットワークとして重要な役割を担っていただく自治会への加入を促進し、自治会の求心力の強化を図ることで、地域コミュニティの活性化に繋げていきます。

## 条例の概要(イメージ図)

### 地域住民の役割(第4条)

- 地域の一員であることを認識し、自治会への加入及びその活動への積極的かつ主体的な参加に努めること。

### 自治会の役割(第5条)

- 地域の中心的な担い手として、積極的かつ主体的な活動に努めること。
- 適正な内部統制を行い、規約、予算、決算その他の自治会運営に関する情報を定期的に公開すること。など

### 事業者の役割(第6条、第7条)

- 従業員がその居住する地域の自治会活動に参加することへの配慮に努めること。
- 住宅関連事業者は、住宅の建築等にあたり、当該住宅の居住予定者に対し、当該住宅が所在する地域の自治会に関する情報の提供に努めること。など

### 市の責務(第8条)

- 自治会との協働に努めること。
- 関係部署で連携し、自治会の負担軽減に配慮すること。
- 必要な財政的支援に努めること。
- 積極的な広報及び啓発に努めること。など

### 期待される効果

- 社会情勢の変化や自然災害等に対する安全・安心ネットワークの構築
- 自治会の求心力の強化による地域コミュニティの活性化

(四日市市市民生活課作成)

## 《編集後記》

四自連だよりは、四自連の事業や、四日市市と協働で行っている活動を紹介し、みなさんにご理解、ご協力いただくために発信しております。

四日市市自治会連合会は、市内のいろいろな地域活動や、課題解決していくために情報交換できる場として今後も活動していきたいと思っております。

四日市市自治会連合会事務局 〒510-8601 四日市市諏訪町1-5  
TEL・FAX 059-354-8287